

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。

リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業のものづくり・人づくりを紹介！  
企業のちから

No 4 The company in Shirakawa

(株)光陽社  
KOYO-SHA CO., LTD.

住 所：大信中新城字塩沢1  
生産品目：工業用研磨材料、家庭用コンシューマー製品など



品質と信頼性を追求し  
「研磨」のあらゆるニーズに応える。



- ① 新製品の「ソフトユニフラップPAX」。金属等の切断面を磨く、バリ取りに最適
- ② 123人が働く本社・白河工場。毎月1回、周辺の清掃活動をしています
- ③ 従業員の皆さん。最近、結婚や出産の話題が多く明るい社内です
- ④ 総務部長の井上正宏さん(左)と総務課長の鈴木忠賢さん。家庭用品にも力を入れています
- ⑤ 作業風景。充実した福利厚生が生産性の向上につながっています
- ⑥ 社長の山崎一男さん。従業員とのコミュニケーションを大事にしています

「眼鏡のフレーム、ネックレス、ステンレス板など、身の周りにある多くの製品は、仕上げに「磨き」が行われています。私たちの会社では、その仕上げに欠かせない、あらゆる磨きのニーズに応えた研磨材料を作っています」と話す総務部長の井上正宏さん。

光陽社は、研磨材料を総合的に扱う国内唯一の会社として、工業用から家庭用までの研磨材料を幅広く生産。その中でも、木工家具や金属を磨く「耐水網目研磨布「ポリネット」」や貴金属を磨きつやを出す「研磨つやだしクロス「ポリマール」」など、他社にはない独自の製品づくりに力を入れています。

また、出生祝金や積立休暇制度など福利厚生の充実にも積極的に取り組み、従業員が働きやすい環境づくりに努めています。

大正15年に東京都荒川区で操業を開始し、平成2年に、高速道路に近く物流の利便性があることから旧大信村に白河工場を建設。平成12年には本社も同地(敷地面積約6万3千㎡)に移転し、地域の雇用に貢献しています。

「国内唯一の総合研磨材料メーカーの特色を生かし、これからも地域の活性化に貢献できる身近な企業を目指していきます」と社長の山崎一男さんは笑顔で話してくれました。

## 白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、6月14日から7月13日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

振込された方については、カタカナで表記させていただきます。7月14日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店 様
- 山口茂夫(静岡県) 様
- 白河の関ほたるまつり実行委員会 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します(6月22日～7月21日)》

- 栃木ボランティアネットワーク 様
- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 明日飛子ども自立の里 様
- とちぎYMCA 様
- スーパーミラクル塾 様
- 天理教 北多摩西部支部 様
- スズヤ鍼灸治療院 様
- わしお(株) ライフポートわしお 様
- 青空市場 様